

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	11 (7)	現在ホームではさまざまな情報共有ツール(ノート)があり、手書きで記帳を行なっているが、今後はパソコンソフト等を活用した情報共有方法についても検討していきたい。	迅速(時間の短縮)かつ情報量の増加に対応し、より確実な情報の共有化を図るために、パソコン(電子)による情報伝達を導入して行きたい。	スタッフの年齢層が比較的高く、手書きを希望するスタッフが多い現状であるが、将来を見据えて、左目標のとおり、電子化を目指して行きたい。	12ヶ月
2	49 (18)	外に出ることの支援について、散歩、買い物ドライブ、市のイベント等、様々な機会があるが、一人ひとりに注視をすると、出不精の方との差が多いのが現状である。今一度、散歩等の身近なところから外出支援を充実していきたい。	たとえ短い時間でも外の空気を吸い季節感を感じたり、仲間同士で出かけ心身のリフレッシュと機能の向上を図って行きたい。	外出することが面倒といわれる方もいるが、ホーム全体が外向的な雰囲気になることにより、徐々に充実した外出支援を目指して行きたい。	6ヶ月
3	35 (13)	災害時に対する、対策、備えを今後も永続的に進めていく必要がある。	より地域との協力関係の構築、夜間を含めた避難訓練の充実、マニュアルの整備(適宜更新)、備蓄品の整備、再考を今後も進めていく。	運営推進会議を活用しながら、地域との関りを一層密にし、様々なケースの災害に対応した、備え、準備を進めていきたい。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月